



第19回統一地方選挙終わる! 9名支持拡大取り組みに感謝!!

山木氏 惜敗も

無推薦 専薦 当選 8名

働くものの声を 更に議会へ!!

【2019政治決戦に向け更なる強化を】

連合山形置賜地域協議会

議長 佐藤浩昭



日頃より連合置賜地域協議会の活動に対するご理解とご協力に感謝を申し上げます。

2019政治決戦の第1陣ともいえるべき第19回統一地方選挙において、連合置賜は県議会議員選挙に3名、市町議会選挙に6名の候補者を推薦し闘ってまいりました。

結果についてはご案内の通り、県議選においては米沢市選挙区「木村忠三氏」と長井市・西置賜郡選挙区「青木彰栄氏」の当選を勝ち取ったものの、東置賜郡選挙区「山木由美氏」については僅差で競り負けてしまいました。

そして市町議会選挙では、米沢市・長井市・白鷹町の推薦候補者全員の当選を勝ち取ることが出来ました。県議選において3名の連合推薦候補者を擁立して闘うことは、連合置賜としては初めての経験でありました。

また市町議会選挙では、連合置賜構成組織の皆さんに組織内候補や推薦候補とし取り組み、各候補の選対に入りながら、できる限りの対応をいただいております。この間の昼夜を問わない活動に感謝を申し上げます。

連合置賜は、2月の幹事会で推薦候補者の決定以降、候補者はもちろんのこと各構成組織と連携を図りながら選挙戦を闘い抜き、県議選では1名の連合議員を増やし、市町議会では全員の議席を守り切ることができました。

しかしながら、東置賜郡選挙区における県議選の敗北や連合置賜全構成組織との周知・要請体制など、今後の課題も明らかとなりました。

今統一地方選挙の成果と反省を踏まえつつ、2019政治決戦第2陣、第25回参議院選挙を改めて闘い抜き決意を表明し、この間の取り組みの御礼と中間的総括といたします。

第19回統一地方選挙 連合山形・置賜地域協議会 推薦候補者各選挙区開票結果

【山形県議会議員選挙 米沢市区（3月29日(金)告示，4月7日(日)投開票）】

定数3 無投票

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	木村 忠三(53)	無・現	—	推薦
2	当選	渋間佳寿美(49)	自・現	—	
3	当選	相田 光照(45)	自・新	—	

【山形県議会議員選挙 長井市・西置賜郡区（3月29日(金)告示，4月7日(日)投開票）】

定数2 当日有権者数：46,728人 投票率：65.29%（前回比一）

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	青木 彰榮(65)	無・現	11,427	推薦
2	当選	五十嵐 智洋(64)	自・新	9,848	
3		竹田 良則(37)	自・新	8,961	

【山形県議会議員選挙 東置賜郡区（3月29日(金)告示，4月7日(日)投開票）】

定数2 当日有権者数：32,520人 投票率：59.12%（前回比一）

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	船山 現人(65)	自・現	6,399	
2	当選	島津 良平(65)	自・現	6,290	
3		山木 由美(55)	無・新	5,349	推薦
4		鈴木清左衛門(64)	無・新	1,007	

※各選挙区候補者法定ポスター（事務局撮影）



（米沢市区）

（長井市・西置賜郡区）

（東置賜郡区）

【米沢市議会議員選挙（4月14日(日)告示, 同月21日(日)投開票）】

定数24 当日有権者数：67,101人 投票率：57.15%（前回は1.97%減）

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	成沢 和音(31)	無・現	2,001	
2	当選	山田富佐子(62)	公・現	1,996	
3	当選	遠藤 正人(55)	無・元	1,973	
4	当選	鳥海 隆太(52)	無・現	1,814	
5	当選	島軒 純一(59)	無・現	1,761	
6	当選	高橋 寿(63)	共・現	1,749	
7	当選	古山 悠生(38)	無・新	1,583	
8	当選	中村 圭介(41)	無・現	1,515	
9	当選	佐藤 弘司(63)	公・現	1,514	
10	当選	相田 克平(52)	無・現	1,501	
11	当選	小久保広信(59)	無・現	1,493	推薦
12	当選	我妻 徳雄(58)	無・現	1,482	
13	当選	小島 一(41)	国・現	1,405	推薦
14	当選	太田 克典(59)	無・現	1,359	推薦
15	当選	山村 明(70)	無・現	1,344	
16	当選	工藤 正雄(69)	無・現	1,313	
17	当選	島貫 宏幸(52)	無・現	1,312	推薦
18	当選	関谷 幸子(68)	無・新	1,252	
19	当選	斎藤千恵子(65)	無・現	1,182	
20	当選	影沢 政夫(61)	無・新	1,114	
21	当選	堤 郁雄(55)	無・現	1,102	
22	当選	高橋 英夫(63)	共・現	1,089	
23	当選	井上由紀雄(61)	無・新	992	
24	当選	木村 芳浩(49)	無・現	964	
25		遠藤 隆一(51)	無・新	879	
26		鈴木 藤英(48)	無・現	860	
27		皆川真紀子(49)	無・現	735	
28		縮 美紀子(56)	諸・新	603	

※選挙区候補者法定ポスター（事務局撮影）



【長井市議会議員選挙（4月14日(日)告示，同月21日(日)投開票）】

定数16 当日有権者数：22,521人 投票率：67.45%（前回は5.21%減）

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	渡部 正之(42)	無・新	1,325	
2	当選	平 進介(64)	無・現	1,316	
3	当選	赤間 泰広(62)	公・現	1,056	
4	当選	竹田 陽一(65)	無・新	1,051	
5	当選	金子 豊美(58)	無・現	1,032	
6	当選	鈴木 一則(63)	無・新	1,027	
7	当選	勝見英一郎(70)	無・新	1,020	
8	当選	梅津 善之(50)	無・現	928	
9	当選	鈴木富美子(64)	無・現	894	
10	当選	小関 秀一(64)	無・現	806	
11	当選	蒲生 光男(73)	無・現	770	推薦
12	当選	鈴木 裕(63)	無・新	742	
13	当選	渡部 秀樹(44)	無・現	692	
14	当選	浅野 敏明(64)	無・現	681	
15	当選	内谷 邦彦(65)	無・現	632	
16	当選	今泉 春江(69)	共・現	609	
17		宇津木正紀(65)	無・現	450	

※選挙区候補者法定ポスター（事務局撮影）



【白鷹町議会議員選挙（4月16日(火)告示，同月21日(日)投開票）】

定数12 当日有権者数：11,668人 投票率：79.54%（前回比0.86%増）

順位	結果	候補者名		得票数	連合推薦
1	当選	小口 尚司(58)	無・現	789	
2	当選	竹田 雅彦(53)	無・新	736	
3	当選	今野 正明(65)	無・現	729	
4	当選	山田 仁(69)	無・現	641	
5	当選	丸川 雅春(57)	無・新	604	
6	当選	笹原 俊一(57)	公・現	599	
7	当選	関 千鶴子(61)	無・現	562	推薦
8	当選	金田 悟(58)	無・新	559	
9	当選	菅原 隆男(72)	無・現	530	
10	当選	遠藤 幸一(69)	無・現	511	
11	当選	横山 和浩(47)	無・新	497	
12	当選	奥山 勝吉(62)	無・現	481	
13		渡部 善美(68)	無・現	480	
14		佐々木誠司(53)	無・現	475	
15		田中 孝(70)	無・現	450	
16		佐竹 典明(71)	共・元	351	
17		高橋 良一(65)	無・新	154	
18		増田 啓子(67)	無・新	78	

※選挙区候補者法定ポスター（事務局撮影）



※[参考]左：川西町議会議員選挙区，右：小国町議会議員選挙区候補者法定ポスター（事務局撮影）



□■第19回統一地方選挙活動フォト■□

3月29日(金)告示の山形県議会議員選挙を皮切りに、第19回統一地方選挙各選挙区推薦候補者の出陣式や決起集会、そして開票を見守る会に至るまで働くものの声を地方議会へ送り届けるべく様々な形で各候補者を支援して参りました。

2019春季生活闘争取り組みと併行しての活動に心から感謝と敬意を表しつつ、山形新聞記事抜粋等も交えまして、この間の活動フォトを掲載させていただきます。

【山形県議会議員選挙米沢市区 3月29日(金)告示・4月7日(日)投開票】

(3月29日金曜日：木村忠三候補者出陣式)



(3月29日金曜日：木村忠三候補者無投票当選祝勝会)



【山形県議会議員選挙長井市・西置賜郡区 3月29日(金)告示・4月7日(日)投開票】

(3月29日金曜日：青木彰榮候補者出陣式と第一声)



(4月6日土曜日：青木彰榮候補者白鷹決起集会)



(4月7日日曜日：青木彰榮候補者開票を見守る会)



【山形県議会議員選挙東置賜郡区 3月29日(金)告示・4月7日(日)投開票】

(3月29日金曜日：山木由美候補者出陣式)



(3月31日日曜日：山木由美候補者川西・高畠決起集会)



(4月7日日曜日：山木由美候補者開票を見守る会)



【米沢市議会議員選挙 4月14日(日)告示・21日(日)投開票】

(4月14日日曜日 各候補者出陣式)



【小久保広信候補者出陣式】



【小島一候補者出陣式】



【太田克典候補者出陣式】



【島貫宏幸候補者出陣式】

【長井市議会議員選挙 4月14日(日)告示・21日(日)投開票】

(4月14日日曜日 出陣式)



【蒲生光男候補者出陣式】

【白鷹町議会議員選挙 4月16日(火)告示・21日(日)投開票】

(4月16日火曜日 出陣式)



【関千鶴子候補者出陣式】

県内統一地方選第2ラウンドの5市議選は、定数106を巡り124人が激しい戦いを続けている。21日の投票まであと3日。各地の終盤情勢を探った。
（敬称略、文末のかっこ内は有権者数）

勇退票奪い合う構図

当選ラインは100票前後

米沢

定数24に対し、現職21、元職1、新人6の計28人が出馬。後継を明示せずに県議、市長選に転じた前回上位当選者の票を奪い合う構図で、安定した戦いを展開する現職勢に対し、一部の新人が上位から中位で議席を獲得する勢いを見せている。県議選が無投票に終わり選挙ムードが盛り上がり欠ける中、投票率も当落や順位を左右しそうだ。当選ラインは前回（1026票）を下回り千票を割る可

能性がある。

前回2位の公明山田は組織票に加えて地元松川にも浸透している。上郷唯一の候補となった議長島軒は地区内を中心に支持を固めており、2人がトップ争いの中心になりそう。北部の中村は若さに2期8年の実績が加わって周辺にも支持を広げ、勢いがある。

前回上位で返り咲きを果たした鳥海は、地元西部を中心に安定感を見せる。六郷の新人古山は地元を固め、2回連続トップの相田光昭が県議に転じて空白地となった塩井や周辺に攻め入る。共産の高橋寿は、支

持基盤に万世の地元票を積み上げる。最年少の窪田の成沢は地元をまとめ、若者層の支持も得る。国民の小島も西部から着実に地盤を固める。

中位以降は激しい競争合戦。10期目を目指すベテラン山村は米沢駅前商店街で支持を広げる。元職の遠藤正は知名度を生かして南原から全域に攻勢をかける。相田は中心商店街や若者層に浸透。北部の小久保は労組票と地元票の積み増しを図る。公明の佐藤は西部を地盤に広域に支持を集める。愛宕の斎藤は地区内からの新人出馬を警戒する

も、主婦目線を強調して女性層の支持を広げている。田沢の我妻は地元と労組票を固める。中部の太田は出身の市職労票に加え、地元票取り込みを狙う。広幡の島貫は周辺地区の新人の侵食を警戒しながら、支持層固めを急ぐ。工藤は松川をまとめて周辺地区の新人の食い込みを備える。愛宕の新人影沢は地元で支持を広げつつ、労組票などを広域的に集める。共産の高橋英は北部を中心に広範囲から票を確保する。

前回薄氷の勝利で2選を果たした堤は地元窪田で浸透。中部の新人遠藤隆は、市長選に挑戦する海老名悟の地元票取り込みを狙う。副議長の木村は県議木村忠三の秘書時代の人脈も生かし、東部で支持拡大を図る。三沢の鈴木は縁故のある空白地の南部に事務所を構え、票の掘り起こしを狙う。前回40票差で涙を飲んだ三沢の新人関谷は草の根戦術で当選圏入りを目指す。皆川

は地元南原の元職出馬に危機感を強め、地元を中心に支持を訴える。

新人縮は支持基盤以外への支援の広がりを欠く。山の上の新人井上は地元以外で

の知名度アップに苦戦している。
（6万8391人）

複数の新人に勢い

現職危機感、足場固め注力

長井

16の議席を現職12、新人5の計17人で争う少数激戦。一定の知名度や人脈を持つ複数の新人に勢いがあり、現職は危機感を持ちながら足場固めに注力している。大栗田・中央地区の攻防と、現職4人の勇退、辞職で浮いた票の行方がポイントとなる。投票率は前回(72・66%)と同程度とみられ、当選ラインは600票台か。

上位グループは、致芳地区から立った五十川の渡部正が新人ながらトップをうかがう。地元や商工関係に

浸透し、子育て世代の支持も集めそうだ。前回、同地区唯一の候補として1866票を集めてトップ当選した成田の金子は、票の目減りをカバーしようと同地域での票の獲得を目指す。

西根地区の現職3人は前回に続き上位当選が有力視される。勸進代の平は新人の勢いを警戒しつつ地盤を固め、幅広い人脈を集票につなげる。寺泉の鈴木富は女性票と地元で勇退する現職の票を取り込み、寺泉の公明赤間は組織票に上積みを目指して精力的に回る。

続いて着実に集票しそうなのは新人2人。泉の鈴木一は行政やスポーツ、商工関係の幅広い人脈を生かし

他地域に食い込む。芦沢の竹田は出馬表明が遅れた

が、前回3候補全員が落選した伊佐沢地区全体の支持を集めれば当選圏入りが見えてくる。

現職では東町の浅野、九野本の梅津が前回同様に堅実な戦い。平山から7期目に挑む蒲生は中央地区にも攻め入る。花作町の宇津木も周辺部に足を伸ばし、今泉の内容谷は現職勇退で浮い

た地元票を取り込む。

下位は混戦。九野本の小関は農業関係の支援維持に努める。四ツ谷の共産今泉は組織票を固め、十日町の渡部秀は市街地北部、新人鈴木裕は地元館町南を軸に支持拡大を目指す。時庭の新人勝見は建設関連企業の支援も生かす。

(2万2878人)

ベテラン、新人上位争い

白鷹

定数12に対し、現職11、元職1、新人6の計18人が乱立。現職は新人の攻勢を受け、支持基盤の死守に懸命だ。空白地の中山や秋野、

現職が告示直前に出馬を断念した浅立を含め、全域で票の争奪戦を繰り広げている。6期目を狙うベテラン2人と新人が上位争いを展開。現職今野は地元・十王を中心に存在感を見せ、地

縁のある中山などでも一定の支持を得る。広野の議長遠藤は隣接する浅立にも浸透し、着実に票を積み上げる。大栗田・荒砥の新人竹田は勇退する現職を含めた地元のバックアップを受け、他候補の地盤にも果敢に攻め込んでいる。続くのが現職勢。畔藤の公明笹原は地元や組織票を軸に上位入りもうかが

う。鮎貝の奥山と関は地元票や女性票などをまとめ、堅実な戦い。畔藤の田中、高玉の佐々木、山口の渡部は新人の切り崩しを警戒し、地元固めと他地域の支持獲得へ活動を広げる。400〜500票とみられる当落線上は接戦か。箕和田の小口は農業関係や自

民系青年層の支援を得て新人の勢いに対抗。鮎貝の新人横山は40代の若さと人脈を武器に支持拡大を狙う。荒砥では共産元職の佐竹が組織票固めを進め、菅原と山田は地元票の流出阻止に注力する。高玉の新人金田は農業関連、横田尻の新人丸川は商工関係のつながりも生かし集票を目指す。畔藤の新人高橋は出馬表明の遅れを挽回できるか。同じく畔藤の新人増田は独自の戦い。候補者が多いこともあり町民の関心は高い。投票率は前回（78・68％）並みの水準になるとみられる。（1万1820人）

（4月21日日曜日 各候補者開票を見守る会）



【小久保広信陣営】



【小島一陣営】



【太田克典陣営】



【島貫宏幸陣営】



【蒲生光男陣営】



【関千鶴子陣営】

祝当選



最年少混戦抜け首位

最大会派2減、勢力拮抗

米沢

24議席を巡って現職21、元職1、新人6の計28人が争い、現職19人、元職1人、新人4人が当選した。今秋に市長選を控えており、新しい会派構成の行方や各議員の市当局との距離の取り方が注目される。

投票率が過去最低の57・15%で多くの候補が票を減らす中、首位争いは28票の間で3人が入る大混戦となった。トップ当選は最年少の成沢。地元窪田を固めたほか、市全域で若年層に浸透し、前回から332票を上積みした。公明の山田が5票差で続き3回連続の2位。元職の遠藤正は地元南原で着実に支持を得た。

鳥海、島軒は地元の支持をまとめて安定した戦い。共産の高橋寿も組織票と地元票を固めた。新人トップの古山は、六郷、塩井を中心に支持を広げた。中村、佐藤、相田は各地盤の支持を手堅く集め1500票を確保した。小久保、我妻、小島は前回から票を減らすも、支持基盤をまとめて1400票台を維持。太田、山村、工藤、島貫も地元や周辺の新人の侵食を受

けながらもしのいだ。

関谷は草の根で支持を広げ、次点だった前回から266票を増やした。愛宕地区で激戦を展開した斎藤、新人の影沢は、それぞれ地元票に加えて女性票、労組票も確保して議席を得た。堤は地元窪田に浸透し、最下位当選の前回から票を伸ばした。高橋英は支持層以外への広がりに苦戦しつつも共産の2議席目を死守。前回までの空白地山上の新人井上は地元をまとめ、副議長の木村は300票以上を減らす苦戦も地盤の東部の票を守り滑り込んだ。

中部の新人遠藤隆は地区内で支持が進まず落選。三沢の鈴木、南原の皆川はそれぞれ地区内の新人、元職の攻勢を防ぎ切れず議席を失った。新人縮は支持組織以外に広がりがなかった。現職の会派別当選者数は

一新会5、明誠会4、桜田門3、市民平和クラブ3、公明2、共産2。最大会派の一新会は現職2人が落選し、会派構成次第では、各勢力が拮抗する。市庁舎の建て替えなど大型事業が相次ぎ厳しい財政状況が続く中、活発な議論によって議会の存在感を示したい。

（阿久津誠）

4新人躍進 1000票超

現職11人 議席守る

長井

定数16に対し17人が立候補した少数激戦は現職11人が議席を守り、新人は5人全員が当選した。支援組織や団体の後押しを受けた新人4人が千票超を獲得。現職勢も地盤を固めて対抗した一方、大栗田・中央地区は他候補の切り崩しに遭い、1人が涙をのんだ。

五十川の渡部正は地元の分厚い支援とPTAや商工

会青年部などの幅広い人脈を集票につなげ、トップで初陣を飾った。勸進代の平は新人の切り崩しを最小限にとどめ前回に続く2位。寺泉の公明赤間は組織票を積み上げて上位を守った。前回トップ当選した成田の金子は同地区の渡部正の躍進もあり票を減らしたが、地元を手堅くまとめた。上位の新人勢は、芦沢の竹田が空白地だった伊佐沢地区全体の支持を集め、市職員OBで泉の鈴木一は行政関係やスポーツなどのつな

がりを軸に他地域に食い込んだ。時庭の勝見は70歳ながら、長井高同窓会や企業関係の人脈を生かし、支援の輪を広げた。九野本の梅津、寺泉の鈴木富、平山の蒲生は地盤を軸に安定した集票力を発揮。九野本の小関は農業関係を中心に票を上積みし、館町南の新人鈴木裕は地元を支えられて奮闘した。下位5人は現職で、このうち4人が中央地区。十日町の渡部秀と今泉の内谷は前回からやや票を増やし、

当選圏を確保した。四ツ谷の共産今泉は組織票を軸に踏みとどまった。いずれも市職員OBの東町の浅野、花作町の宇津木は新人出馬のあたりを受けて大きく票を減らし、宇津木がただ1人400票台と低迷した。

現職4人が勇退または辞職し、改選後の会派構成は、最大会派で執行部寄りの長井創生が1人減の5人となり、第2会派の緑風会は3人を維持。残る2会派は各1人、無会派（共産）が1人となった。市役所新庁舎の建設など大規模事業が進む中、当選した5新人の会派対応は市長内谷重治の議会運営にも影響を与える可能性がある。動向が注目される。

（五十嵐聡）

4新人 初陣飾る

票分散、中～下位 混戦

白鷹

前回から2減の12議席を18人が争った。立候補者の多さから票は分散し、特に中位から下位は混戦となった。支持基盤や地元を着実に固めた新人4人が初陣を飾った一方、他候補の攻勢をしのぎ切れなかった現職3人が落選した。

箕和田の小口は若手の自

民支持層や企業の支援を受け前回10位からトップに躍進。荒砥の新人竹田は他地区にも食い込み、今野は地元十王を中心に手堅く集票した。現職勢は荒砥の山田が企業関係を軸に前回から票を伸ばした。荒砥の菅原、広野の議長遠藤、鮎貝の関と奥山は他候補の切り崩しに苦戦したが議席を維持。鮎貝の新人横山は若さへの期待票も取り込んだ。

蚕桑地区は現新で明暗が分かれた。横田尻の丸川、高玉の金田の両新人が地元の支持を核に当選圏に食い込んだ一方、高玉の佐々木と山口の渡部の現職2人は当落線上で競り負けた。

4人が立った畔藤は、組織票をまとめた公明笹原のみが当選。田中は他地域も含めた支持拡大が低調に終わった。高橋、増田の両新人は広がりや欠いた。荒砥の共産元職佐竹は組織票以外に浸透できなかった。

(五十嵐聡)



【編集後記】

天皇陛下の退位を踏まえ、通常よりも1週間前倒しで行われた第19回統一地方選挙は、3月29日の山形県議会議員選挙を皮切りにスタートし、4月21日の市・町議会議員選挙投票開票を以って終了しました。

連合置賜地協としては、県議選において今回初めて置賜全域を選挙区として運動を展開し、支持拡大に向け幹事会での熱心な議論を経て各構成組織の皆さんと共に戦って参りました。一方で、同じく行われた川西・小国両町議会議員選挙においては推薦し支援する候補者が不在となり、今後の請願活動などの面において課題を残す結果となりました。

また、各選挙区の投票率を見ても、特に米沢・長井の両市においては回を重ねる毎に低下しており、有権者の関心が低調なままとなっております。今夏には、7月28日に任期満了の第25回参議院議員選挙が控えており、組織内・推薦候補予定者の必勝に向けた取り組みの強化と共に、「選挙に無関心でも無関係ではないられない」を合言葉にした継続的な投票啓蒙活動もお願いしつつ、第19回統一地方選挙取り組みへの御礼といたします。(事務局)